

平成 25 年度当初予算 施策別取組概要

252 東紀州地域の活性化

(主担当部局：地域連携部)

25201 地域の自立に向けた環境整備 (地域連携部)

25202 地域資源を生かした集客交流 (地域連携部)

25203 地域資源を生かした産業振興 (地域連携部)

平成 27 年度末での到達目標

台風 12 号等の災害復興が進み、これまでの熊野古道を核とする地域の資源や魅力を生かした観光振興、産業振興、まちづくりの取組を一層進めることにより、個性豊かな地域づくりが行われ、地域の人びとが誇りを持った魅力的な地域となることで、集客交流人口が増加するとともに、地域製品の販路拡大や商品開発等の促進が図られています。

施策の数値目標

県民指標

目標項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
東紀州地域に係る 1 人あたりの観光消費額	目標値	-	25,853 円	26,629 円		28,936 円
	実績値	25,100 円				

各指標の H23 年度数値は現状値

目標項目の説明

東紀州地域において観光客が消費する 1 人あたりの平均利用額

活動指標

目標項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
公社がまちづくり等に対し参画した件数 (累計)	目標値	-	9 件	10 件		11 件
	実績値	8 件				
熊野古道の来訪者数	目標値	-	285 千人	320 千人		390 千人
	実績値	250 千人				
地域内で開発された新商品数 (累計)	目標値	-	51 件	54 件		59 件
	実績値	48 件				

各指標の H23 年度数値は現状値

進捗状況 (現状と課題)

- 東紀州地域の観光や産業の振興による活性化を図るため、東紀州観光まちづくり公社において、観光振興、産業振興およびまちづくりの取組を進めています。今後も地域のコーディネーターとしての役割が果たせるよう引き続き支援していく必要があります。
- 紀伊半島大水害からの復興を進めるため、7月に「第 22 回世界少年野球三重・奈良・和歌山大会」を開催するとともに、9月には、「紀伊半島大水害復興イベント～行ってみよら 東紀州元気祭～」を開催しました。

- ・ 熊野古道センターにおいて熊野古道を中心とする企画展を開催するとともに、紀南中核的交流施設において、熊野里人市の開催や3周年記念宿泊プランの販売など、集客交流に取り組んできましたが、紀伊半島大水害の影響等から来館者・宿泊者数は伸び悩んでおり、今後さらなる集客促進を図るため、関係機関との連携を強化し、より効果的に事業に取り組んでいく必要があります。
- ・ 平成25年度までの高速道路の概成、平成26年の熊野古道世界遺産登録10周年は、今後の地域活性化にとって大きなチャンスであることから、東紀州地域5市町とともに「世界遺産登録10周年事業企画委員会」を7月に立ち上げ、今後の事業実施に向けた検討・準備を進めており、早急に平成25年度以降の計画を策定する必要があります。
- ・ 木質バイオマスを安定的に供給できる体制の構築に向け、新たに取り組み始めた「尾鷲木材市場協同組合」および「三重くまの森林組合」に対して、林地残材の搬出支援を行っています。今後も、安定供給体制の構築に向けた取組を進める必要があります。
- ・ 第一次産業の活性化を図るため、農業生産基盤の整備等を推進するとともに一次産品の高付加価値化や販売促進に取り組んでいます。

平成25年度の取組方向

地域連携部

- ・ 東紀州観光まちづくり公社が、東紀州の観光振興、産業振興およびまちづくりの取組を総合的に推進する地域のコーディネーターとしての役割を果たすよう引き続き支援します。
- ・ 熊野古道センターでは、地域との連携を図りながら魅力ある企画展や交流イベント等を開催することにより、情報収集・集積、情報発信、集客交流の機能を充実させていきます。また、紀南中核的交流施設では、魅力的な宿泊プラン等の設定や地域と連携したイベントの開催等により、集客交流の機能が充実するよう支援していきます。
- ・ 平成25年度は、式年遷宮や高速道路の概成に加え、熊野古道世界遺産登録10周年の前年度にあたることから、観光キャンペーンや10周年のイベントなど次年度の誘客に向けた情報発信に取り組むとともに、世界遺産登録10周年事業の準備を着実に進めていきます。
- ・ 市町や関係機関等と連携して東紀州地域の観光・産業の情報発信を充実するとともに、地域産品の販路拡大を支援します。

県土整備部

- ・ 広域的な高速道路ネットワークを形成する紀勢自動車道および熊野尾鷲道路の整備促進を図るとともに、高速道路網等へのアクセス道路の整備を推進します。

農林水産部

- ・ 木質バイオマスを安定的に供給できる体制を構築するため、「尾鷲木材市場協同組合」および「三重くまの森林組合」に対して、林地残材の搬出支援を引き続き行っていきます。
- ・ 第一次産業の活性化に向けて、引き続き農業生産基盤の整備等を推進するとともに、地域の主産品であるかんきつ、尾鷲ヒノキ、マハタ等の高品質化および生産基盤強化のための研究開発を進めます。

主な事業

地域連携部

東紀州観光まちづくり推進事業【基本事業名：25201 地域の自立に向けた環境整備】

予算額：(24) 20,078千円 (25) 20,078千円

事業概要：東紀州観光まちづくり公社において、観光商品づくりやエージェントセールスなどにより集客交流を図ります。また、物産展のアテンド等を通じた販路開拓や地域の人びとによる自主的な地域づくりを支援します。

東紀州地域活性化推進費【基本事業名：25201 地域の自立に向けた環境整備】

予算額：(24) 2,505千円 (25) 2,644千円

事業概要：熊野古道の保全と活用を図ることを目的に熊野古道協働会議を開催するなど、東紀州地域の活性化にかかる諸課題に対応します。

熊野古道センター運営事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(24) 66,675千円 (25) 67,101千円

事業概要：熊野古道センターにおいて、熊野古道を核とする魅力ある企画展や地域と連携した交流イベントの実施、情報発信等により集客交流を図ります。

紀南中核的交流施設整備事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(24) 285,397千円 (25) 285,378千円

事業概要：紀南中核的交流施設において、事業者の独立採算により運営を行うことを条件とし、整備等にかかる費用の一部を補助します。

(新)熊野古道世界遺産登録10周年事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(24) 千円 (25) 29,673千円

事業概要：地域や関係機関と連携して、熊野古道世界遺産登録10周年のイベントなど次年度の誘客に向けた情報発信に取り組むとともに、10周年事業の準備を行います。

農林水産部

新たな木質バイオマス供給拠点づくり事業【基本事業名：31301 県産材の利用の促進】〔再掲〕

予算額：(24) 7,500千円 (25) 9,564千円

事業概要：木質バイオマスを安定的に供給できる体制を構築するため、高性能林業機械のリース費用を支援するとともに、東紀州から松阪までの輸送経費相当額の支援を行います。

畑地帯総合農地整備事業【基本事業名：31205 農業生産基盤の整備・保全】〔再掲〕

予算額：(24) 84,000千円 (25) 105,000千円

事業概要：東紀州の基幹産業であるかんきつ農業の活性化を図るため、みかん園地の用排水施設や農道等の整備を行います。